

国際会計論 Exercise

Chapter 20: セグメント報告の会計

* 解答はすべて解答用紙に記述してください。

- 問1 セグメント情報の開示が求められる理由を、「連結財務諸表」との関係性に着目して説明しなさい。また、セグメント情報が情報利用者の意思決定に与える影響についても述べなさい。
- 問2 IFRS 第8号「事業セグメント」におけるマネジメント・アプローチとは何かを説明しなさい。また、事業セグメントの識別における「量的基準」の具体的な内容についても述べなさい。
- 問3 A社は内部報告の目的で、以下の5つの事業セグメントを識別している。それぞれの収益、損益、資産は以下のとおりである。A社は、IFRS第8号に基づき、報告セグメントを決定しなければならない。

事業セグメント	収益 (千円)	損益 (千円)	資産 (千円)
セグメント1	50,000	10,000	120,000
セグメント2	100,000	15,000	200,000
セグメント3	30,000	-5,000	50,000
セグメント4	40,000	8,000	80,000
セグメント5	20,000	-3,000	40,000
合計	240,000	25,000	490,000

- (1) 各セグメントの収益、損益、資産について、10%基準を適用し、報告セグメントを判定しなさい。判定過程についても説明すること。
- (2) 収益合計額の75%基準を満たしているかを確認し、必要に応じて報告セグメントを追加しなさい。判定過程についても説明すること。

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 20	ID Number	Name	Grade
セグメント報告の 会計			

問 1

問 2

問 3

(1) 10%基準の適用による報告セグメントの判定 (○×で解答)

セグメント 1 ()

セグメント 2 ()

セグメント 3 ()

セグメント 4 ()

セグメント 5 ()

(判定過程)

(2) 収益の75%基準の確認による追加報告セグメントの判定(追加されるものだけに○で解答)

セグメント1 ()

セグメント2 ()

セグメント3 ()

セグメント4 ()

セグメント5 ()

(判定過程)